

# 秋切り栽培に有利なレーマニー系カラー品種

福島県農業総合センター 会津地域研究所

## 1 部門名

花き－カラー－品種

## 2 担当者

大竹真紀・堀越紀夫・鈴木美枝・芳賀紀之

## 3 要旨

畠地性カラーの秋切り栽培では、レーマニー系品種のクリスタルブラッシュとゴールドクラウンは、HB系品種のブラックアイドビューティーやフローレックスゴールドと比較して有利に栽培できる。

- (1) 再利用球を用いた秋切り栽培では、クリスタルブラッシュとゴールドクラウンは、ブラックアイドビューティーやフローレックスゴールドに比べて採花本数が多い(表1)。
- (2) クリスタルブラッシュとゴールドクラウンの再利用球による秋切り栽培後の切り下球根は、球根重量や球数が定植球の2倍程度に増え、次年度の栽培に利用できる(表1)。
- (3) クリスタルブラッシュの150g以上の再利用球を用いると、輸入球と同等の採花本数が得られ、ボリュームのある切り花となる(表2、図1)。

表1 再利用球の秋切り栽培における採花本数と切り下球根の肥大

区分 (系)	品種名	定植球根重 (g/球)	採花本数 (本/球)	切り花 長(cm)	奇形花 率(%)	無開花 球率(%)	切り下球根 重(g/株)	球数 (個/株)	腐敗球 率 <sup>1)</sup> (%)
レーマ ニー系	クリスタルブラッシュ	83	9.9	53	13	0	204	2.4	1
	ゴールドクラウン	87	7.1	64	10	3	209	2.3	0
HB系	ブラックアイドビューティ	84	2.7	74	16	3	286	2.5	4
	フローレックスゴールド	143	1.7	60	21	15	171	2.0	5

\* 2014年7月9日定植。栽培地:会津坂下町、猪苗代町。数値は2カ所の平均値。

1) 腐敗球率:球根の一部に腐敗症状が発生したもの

表2 クリスタルブラッシュの秋切り栽培における再利用球と輸入球の比較

球根の種類	定植球根重 (g/球)	採花本数 (本/球)	切り花 長(cm)	奇形花 率(%)	無開花 球率(%)	切り下球根 重(g/株)	球数 (個/株)	腐敗球 率 <sup>1)</sup> (%)
再利用球(小球)	91	9.7	60	14	5	133	1.2	9
再利用球(大球:150g以上)	190	20.4	61	19	0	235	4.7	0
輸入球(20/24サイズ)	67	20.6	53	14	0	171	6.5	1

\* 2014年7月23日定植。栽培地:会津坂下町、猪苗代町。数値は2カ所の平均値。

1) 腐敗球率:球根の一部に腐敗症状が発生したもの

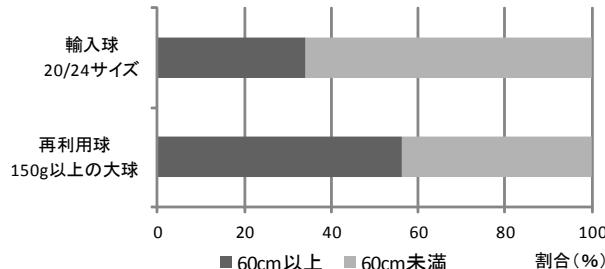


図1 クリスタルブラッシュの秋切り栽培における  
球根の種類と切り花長別割合(2014年)

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～26年度
- (2) 研究課題名 会津地域の特色を活かした野菜・花きの高品質安定生産技術の確立  
(畠地性カラーの低コスト栽培体系の確立)
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 平成26年度参考成果「カラー「クリスタルブラッシュ」の秋切り栽培は前年5月定植の再利用球で収量アップ」